

スポーツ産業論Ⅱ

科目ナンバリング SPS-111
選択必修 2単位

片上 千恵

1. 授業の概要(ねらい)

2020年のコロナ感染の拡大はスポーツ界にも大きな打撃を与えた一方で、デジタルトランスフォーメーション(DX)の加速度的な進化は観戦スタイルやスポンサーシップ、スタジアムやアリーナの活用の仕方に変化をもたらし、スポーツビジネスの新たな可能性を示唆しました。本授業では、わが国のスポーツビジネス界で起こっている現象を事例として掲げ、その中で当てはまるビジネス・マネジメントの理論やフレームワークを学ぶことでスポーツビジネスの全体像を把握していくことを目的とします。

2. 授業の到達目標

- ・我が国のスポーツビジネスにおける市場規模やその実情を把握し、社会的な価値や課題を説明できる。
- ・日本のスポーツを深く知ることで、学生自らが今後、スポーツビジネスとどう関わっていくのか方向性を定めることができる。

3. 成績評価の方法および基準

期末テスト 100点

4. 教科書・参考文献

教科書

原田宗彦(編) 『スポーツ産業論第6版』(2015) 杏林書院:東京

5. 準備学修の内容

- ・日頃からスポーツのニュースや話題に敏感になっておくこと。
- ・授業で取り上げた内容やキーワードを復習すること。

6. その他履修上の注意事項

【重要】「スポーツビジネス概論Ⅰ」を履修した学生に限る

7. 授業内容

- | | |
|--------|-------------------|
| 【第1回】 | ガイダンス及びスポーツビジネス概説 |
| 【第2回】 | プロ野球のビジネス |
| 【第3回】 | Jリーグのビジネス |
| 【第4回】 | Bリーグのビジネス |
| 【第5回】 | 大相撲のビジネス |
| 【第6回】 | ラグビーのビジネス |
| 【第7回】 | 外部講師:選手マネジメント |
| 【第8回】 | 中間テストと前半まとめ |
| 【第9回】 | ゴルフのビジネス |
| 【第10回】 | 格闘技のビジネス |
| 【第11回】 | 公営競技のビジネス |
| 【第12回】 | eスポーツ |
| 【第13回】 | オリンピック・パラリンピック |
| 【第14回】 | 外部講師:球団関係者 |
| 【第15回】 | まとめとテスト対策 |